

1

西の湖廻遊路整備に向けた提案

(近江八幡商工会議所)

2

多様な生態系が育まれ
文化的・歴史的価値のある
琵琶湖最大の内湖

琵琶湖保全再生施策に関する計画
(第2期) 令和3年度～令和7年度

☆保全・再生に関する方針☆
自然の恵みを持続的に活用する環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築

☆目指すべき姿☆
琵琶湖と人とのより良い共生関係の形成



西の湖の環境を『守る取組み』
生態系・生物多様性の保全

西の湖の特性・魅力を『活かす取組み』
体験・体感による西の湖とのふれあい推進



『守る取組み』と『活かす取組み』の両方が必要
互いに相乗効果を生み地域活性化につながる

西の湖の
特性・魅力を活かす取組み

①観光ルートの整備

②賑わいの創出

③イベントの実施

④施設整備

魅力を活かす取組み

①観光ルートの整備

廻遊型観光

自然歴史観光

スローツーリズム

水郷めぐりの陸上版観光コース

よし笛ロードから市街地への誘導

廻遊型観光

西の湖を中心とした広域的な廻遊型観光
を促す環境づくりを推進



安土地域と近江八幡地域をつなぐ
新たな観光スタイルを創出



滞在型観光の拡大による観光振興
来訪者の増加
地域活性化

自然歴史観光

伝建地区・八幡堀
ヴォーリス建築



ラ・コリーナ



年200~
300万人



西の湖



安土駅周辺
(安土城郭資料館)



安土城跡
文芸の郷
(信長の館)

スローツーリズム
水郷めぐりの陸上版観光コース

近江八幡ならではの
和船や自転車を活かした観光

よし笛ロードから市街地への誘導

よし笛ロードから市街地・市内観光施設
等への誘導を図る



少しでも長く市内に滞在してもらう

魅力を活かす取組み

②賑わいの創出

週末に家族・団体が気軽に遊びに行ける
地域内外の人たちに開かれた場

レクリエーション性を高める



西の湖の自然にふれる場

生態系の観察

憩いの場



人口減少対策

西の湖にふれる場

生態系の観察

水上デッキ
水辺のピクニック
親水施設

野鳥観察デッキ
環境学習施設

憩いの場 人口減少対策

カフェ、イベント広場
自転車のレンタルショップ
メンテナンス工房

西の湖の魅力を全国に発信



テレワーク・ワーケーションをきっかけ
移住・定住を促す

魅力を活かす取組み

③イベントの実施

西の湖の特性・魅力が
十分に周知されていない

環境保全への意識向上と魅力の周知
多くの人が集うきっかけづくり
計画的・継続的なイベントの実施が必要

行政主導ではなく
まちづくりに熱心な団体や個人を中核に
官民連携・協働による取組み



西の湖を活動拠点とするコミュニティ活動を
支援する団体・個人の連携づくり

イベントの実施



西の湖周辺の自然・
動植物の学習会、
野鳥観察会



自然と人々をテーマに
した芸術・文化活動

西の湖を拠点とした
コミュニティ活動を支援する
連携づくり



ミニコンサート、ヨシ船
づくりなど



よし笛ロードを活用した
ウォーキング・ミニマラソン・
サイクリング

魅力を活かす取組み

④施設整備

自転車道「よし笛ロード」

トイレ・休憩所

キロ標示・看板

街路灯

西の湖までの交通手段、駐車場

B & G海洋センターの再整備

自転車道「よし笛ロード」の整備

よし笛ロードは魅力的な水際空間を体験できる
観光インフラであり西の湖活用の要

自転車と歩行者の両方が安全に利用できる

西の湖に特化した魅力的なコース設定

トイレ・休憩所の整備 キロ標示・看板の設置 街路灯の設置

西の湖園地にヨシを使った
シンボリックなトイレ・休憩所

ウォーキング・ランニング・サイクリング
コースとしてPRするため1kmごとの標示

西の湖ガイド、周辺の地域資源等
の情報発信するための看板

治安対策として街路灯

施設整備の手法

民間施設では法的規制が厳しい



公設民営が基本

管理は民間



補助制度・管理運営の収益確保
官民の役割分担・連携